

製品名: HAT1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11902**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	49kDa

抗原情報

遺伝子名	HAT1
別名	HAT1; KAT1; Histone acetyltransferase type B catalytic subunit; Histone acetyltransferase 1
遺伝子 ID	8520.0
SwissProt ID	O14929
免疫原	抗血清はヒト HAT 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 331-380

背景

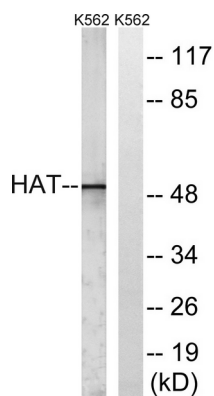
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、B型ヒストンアセチルトランスフェラーゼ (HAT) であり、新しく合成された細胞質ヒストンの急速なアセチル化に関与しています。これらのヒストンは核内に輸送され、新生 DNA 鎖に de novo 沈着します。ヒスト

ンのアセチル化、特にヒストン H4 のアセチル化は、複製依存性クロマチン構築において重要な役割を果たします。具体的には、この HAT は可溶性ヒストン H4 のリジン 5 および 12 をアセチル化しますが、ヌクレオソームヒストン H4 のリジン 5 および 12 はアセチル化しません。また、ヒストン H2A のリジン 5 は、アセチル化の程度は低いもののアセチル化しません。この遺伝子には、選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが同定されています。[RefSeq 提供、2009 年 6 月]触媒活性: アセチル CoA + ヒストン = CoA + アセチルヒストン。機能: テロメアサイレンシングに関与する可能性がある。可溶性 H4 の Lys-5 と Lys-12 をアセチル化するが、ヌクレオソーム H4 はアセチル化せず、ヒストン H2A の Lys-5 をアセチル化する。HAT1 は、認識配列 GXGKXG のリジンを修飾する固有の基質特異性を有する。オンライン情報: ヒストンアセチルトランスフェラーゼエントリ、類似性: HAT1 ファミリーに属する。細胞内局在: S 期細胞では核内、細胞質内。サブユニット: HAT1 と p46/HAT2 サブユニットのヘテロマー。

研究分野

タンパク質アセチル化

画像データ



K562 細胞ライセートの HAT 抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。